



Francis Brinkley
Japan: described and illustrated by the Japanese
Boston, 1897
フランシス・ブリンクリー 『ジャパン』

編者のフランシス・ブリンクリー (Francis Brinkley, 1841-1912) は、慶応3年(1867)、英国の軍人として来日し、日本の海軍砲術学校などで教育にあたった。のちに英字新聞「ジャパン・メール」紙を発行、また、「ロンドン・タイムズ」紙の通信員を務めるなどして、海外への日本文化紹介に大きな役割を果たした。

本書は、1897年米国ボストンでJ.B. Millet社より刊行されたもの。長い鎖国時代の後の開国以来、日本の文化は西洋の人々の熱い関心を引き起こし、本書はそうした関心に応えるものであった。海外への日本紹介という観点から、時の日本政府も本書の出版を援助している。

本書は15章の構成。日本の歴史、社会、生活について、各分野における日本人の権威がブリンクリーの要請を受けて執筆したテキストに、日本人によって撮影された日本の景色・暮らし・人物の写真が配されている。繊細な手彩色を施された写真も多く、各巻頭は、明治中期の代表的写真家、小川一真(1860-1929)による日本の花々のコロタイプ写真で飾られている。

J.B. Millet社は本書について装丁などの異なる多くの版を刊行した。展示資料は、Orient edition (限定500部発行) 全10巻のうちの第1巻。クロス張りの花模様は巻ごとに異なる。